

平成 25 年 9 月 27 日

各位

会社名 富士機械製造株式会社
代表者名 代表取締役社長 曾我 信之
問合せ先 ハイテック事業本部営業技術部部长
今井 美津男
電話 (0566) 81-8263

新製品ダイナヘッド(HX)およびヘキサフィーダに関するお知らせ

富士機械製造株式会社は、当社の電子部品装着機（以下「実装機」）に対応したダイナヘッド(HX)およびヘキサフィーダをリリースします。ダイナヘッドは当社実装機 AIMEX II、AIMEX IIS に対応、ヘキサフィーダは当社実装機 NXT II、NXT III、AIMEX シリーズに対応します。

進展著しいエレクトロニクス製品の高性能化を支える電子回路基板の実装ラインでは、市場における需要の変化に柔軟に対応できる生産システムの要求が強まっており、さらなる段取り替え時間の削減と生産効率の向上が重要な課題となっております。これらの課題に対する解決方法として、当社はダイナヘッドとヘキサフィーダを開発しました。

ダイナヘッドは、極限まで汎用性を高めた装着ヘッド*1で、高速 12 ノズルツール、汎用 4 ノズルツール、大型異形用 1 ノズルツールを自動交換しながら生産を行う事ができます。

ヘキサフィーダは、8mm 幅テープフィーダ*24 本分のスペースに 6 本のテープを搭載することができ、装置あたりの部品搭載数を約 1.5 倍まで増加させることができます。

*1 装着ヘッド：電子部品を供給部から吸着し、基板上に装着する実装機の構成ユニット

*2 テープフィーダ：テーピングされた電子部品を供給する実装機の構成ユニット

この二つの新開発ユニットを組み合わせることで、以下のメリットが生まれます。

(1) 急な生産計画の変更等にもフレキシブルに対応。

ダイナヘッドは部品サイズ 0402*3~74mm×74mm (100×32)、部品高さ 25.4mm までを装着ヘッド 1 台で対応することができます。さらにヘキサフィーダとの相乗効果により、生産品目ごとの小型チップ部品と大型異形部品の比率の変化や、急な生産計画の変更にもフレキシブルに対応することができます。

*3 0402 : 0.4mm×0.2mm の超小型部品。

(2) 段取り替え時間を削減。

ダイナヘッドは運転中に自動ツール交換を行うため、ヘッドの段取り替え作業が不要となります。また、ヘキサフィーダにて部品搭載数が増えることで、段取り替え時の部品掛け替え本数を従来よりも削減することができます。

(3) 高い生産効率、高い実装品質を実現。

ダイナヘッドはツール自動交換により、個々の電子部品に対して最適な速度と精度で常に実装するため、高効率で高品質な生産を実現します。

ヘキサフィーダは1台の本体に6本のカセットが着脱可能な構成となっており、装置稼働中に部品補給や部品交換が可能です。(従来のシングルフィーダと同様の運用が可能です)

ダイナヘッドは当社主力機種であるNXT IIIへ、またグルーツールも開発する予定です。

「ダイナヘッド(HX)」は、国内価格は250万円、2013年11月から販売開始予定です。

「ヘキサフィーダ」は、国内価格は67万円、2013年12月から販売開始予定です。